

会 社 名 東福製粉株式会社  
 代 表 者 取締役社長 野上 英一  
 (コード番号 2006 東証第2部・福証)  
 問 合 せ 先 総務部長 進藤 孝  
 TEL (092) 781 - 1661

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年 8月 12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表致しました平成20年9月期通期(平成19年10月1日～平成20年9月30日)の個別業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 20年 9月期 通期業績予想数値の修正(平成 19年 10月 1日 ～ 平成 20年 9月 30日)

##### (1) 個別通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年8月12日発表)	3,900	80	50	25	2 円 50 銭
今回修正予想(B)	3,940	99	64	35	3 円 50 銭
増減額(B-A)	40	19	14	10	1 円 00 銭
増減率	1.0	23.8	28.0	40.0	—
前期(平成19年9月期)実績	3,718	△ 72	△ 92	△ 55	△5 円 52 銭

#### 2. 理 由

当期は、平成20年8月12日に平成20年9月期個別通期業績予想を公表しておりましたが、差異が生じる見込みとなりましたので修正いたします。

当期の経営環境は、穀物相場や原油の高騰などによる諸経費の増加や政府売渡麦価の二度に及ぶ大幅な引き上げなどがあり、厳しい状況にありました。また、国内外の食品への異物混入や偽装表示などが多発し、消費者の食への安全意識は更に高まっております。

そのような中、当社は、麺類その他商品及び不動産収入においては、売上高は予想を下回りましたが、積極的な営業活動を行いました結果、小麦粉、ふすまの売上高が予想を上回り、売上高全体としては、ほぼ予定通りとなりました。

損益面におきましては、原料コストの増加と原油の高騰による諸経費の増加はありましたが、利益重視の販売及び製造効率の向上とコストの削減に努めました結果、営業利益、経常利益及び当期純利益は予想を上回ることとなりました。

なお、連結業績におきましては予想通り推移しております。

以 上